

日本文藝研究

第六十五巻 第二号

空海研究の障壁（下） —— 恵果和尚碑再論 ——	河内 昭 圓	1
俗語訳成立史（下）	田 中 康	19
『小説作法』における 「忍耐と修練」	山 本 歩	35
遠藤周作『沈黙』論 —— ロドリゴの救済 ——	岩 崎 里 奈	57
富士谷御杖『百人一首燈』（精研・富成本） の和歌註釈について —— 初期の歌道説の適用例としての観点から ——	但 馬 貴 則	71
漫才における言語生活論	清 原 裕 登	1

関西学院大学日本文学会

前 号 目 次

空海研究の障壁（上）……………河内 昭 圓…1

——惠果和尚碑再論——

俗語訳成立史（上）……………田 中 康 二…17

近世期の連歌会における女性連衆の参加形態……………雲 岡 梓…39

——荒木田麗女の場合——

阪本勝『洛陽飢ゆ』『戯曲資本論』試論……………柚 谷 英 紀…49

——〈檜田の軌跡〉 新人会・大阪労働学校・関西学院——

少年詩人が見た戦争……………大 橋 毅 彦…73

——木原孝一『戦争の中の建設』からの出発——（下）

* ————— *

翻刻資料

新収資料紹介『西山宗因独吟百韻』の翻刻……………森 田 雅 也

吉 雲 岡 健 剛 梓…93

編集後記

▼第六十五巻第二号をお届けする。▼論考は文学四篇、語学二篇である。今号は前号でご寄稿いただいた河内昭円先生、田中康二先生の後編を掲載している。長大な論文に記して謝したい。▼河内昭円先生は大谷大学ご勤務中からご退任後も長らく本学大学院でご指導いただいたが、このたび、遺憾ながら講師規定により、ご退休いただくこととなった。ご玉考は先生の本学でのご教導の証といえる。▼今年、文学部は開設八十周年を迎えた。「心中念故人」。▼五輪の「記録」に残る「演技」よりも「記憶」に残る「演技」。「演技」は「論文」と置き換えられるか。料簡である。
(森田)

投稿・執筆について

- 一、執筆資格をもつものは、日本文学会会員、『日本文藝研究』購読会員の他、編集委員会が認めたものとする。
- 二、原稿内容は日本文学および日本語を主な対象とし、未公刊のものにかぎる。
- 三、研究論文は四百字詰め原稿用紙換算で三十五枚を目安とする。研究論文以外の原稿については編集委員会に問い合わせること。
- 四、投稿は随時受け付ける。
- 五、原稿の採否は、編集委員会が決定する。
- 六、本誌に掲載された論文などの著作権は著者に帰属するものとする。ただし、関西学院大学日本文学会は、本誌に掲載された原稿を電子化または複製の形態などで公開する権利を有するものとする。

二〇〇二年十月

関西学院大学日本文学会

二〇一四年三月五日 印刷

二〇一四年三月十日 発行

定価八〇〇円

日本文藝研究 第六十五巻第二号

〒六二八-八五〇一

西宮市上ヶ原一番町

関西学院大学日本文学会

(〇七九八)五四一六二八(直通)

編集兼 発行者 細川 正義

発行所 日 本 文 学 会

〒六二八-〇〇五五 京都市右京区西院清水町一三

印刷所 協和印刷株式会社

TEL (〇七五)三二一四〇一一

FAX (〇七五)三二一四〇一一

注 文 規 定

御注文は前金にて関西学院大学日本文学会へ御願いたします。振替を御利用ください。(振替〇二五〇一七六〇五八五)

一年分(送料共)三、〇〇〇円